

ならはみらい

みんなの笑顔が集まる「笑店街」「交流館」もおかげさまで1周年

町の賑わいの発信拠点でもある「笑ふるタウンならは」は、今年の6月末に商業施設が、7月末には交流施設が1周年を迎えました。たくさんの方々の笑顔に出会うことができた各記念イベントの様子をご紹介します。



商業施設1周年イベント“檉葉ファミリーフェスタ”的様子

令和元年度 ならはみらい事業紹介

- P.2 ここなら笑店街イベントの様子・夏季限定！星空ビアガーデン！
毎年恒例！ならは31人の“生”的物語プロジェクト
- P.3 檉葉町ふるさと納税7月からリニューアル！
檉葉町新たなコミュニティづくり懇話会「企業を知ろう！」
- P.4 まちづくり会社が集まる組織「ふたばエイト」が活動開始
皆さんにお知らせ

一般社団法人ならはみらい

町の復興計画のもと平成26年6月末にまちづくり会社として設立。
「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外からの応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしとなるよう様々な事業に取り組んでいます。

新規事業、続々スタート!
イベントも盛りだくさん!

おかげさまで
50万人
突破!

ここなら笑店街 1周年

ここなら笑店街 星空ビアガーデン

7月15日から8月31日まで、ここなら笑店街中央広場にて星空ビアガーデンが開催されました。

麺joyなごみ家による期間限定の飲み放題付きコースをはじめ、Mare de caffèでは、新たにウイスキー・ハイボール、日本酒など、お酒の提供も始めました。

8月4日には、昭和歌謡レパートリー1,000曲を誇る、女装歌手北川玉奴によるミニライブも開催!利用者も多く集まり、ここなら笑店街の夏を大いに盛り上げました。

NEWS

ここなら笑店街 公式ホームページ

営業時間・定休日や電話番号、おすすめメニュー・お店からのメッセージ等各店舗の情報や、ここなら笑店街の成り立ち、イベント情報やお知らせを載せています。これからも旬な情報を届けますので、是非お気軽にアクセスしてみてください!

ここなら笑店街



またはP4からスマホで簡単アクセス!



6月29日、商業施設1周年記念「楓葉ファミリーフェスタ」が開催。

メインステージでは、ヒーローショーやライブパフォーマンスの他、ジャグリング・バルーンパフォーマンス、お楽しみ抽選会等を行い、ステージは大盛り上がり!東側広場では、エコ工作コーナー、モヴィリティ・電動キックボード試乗、ふわふわダルメシアン等、子どもから大人まで楽しめるような場となりました。また、「縁日笑ふる通り」として、昔ながらの縁日を再現。くじ引き・射的・スーパーボールすくい・やきとり、ビールなど、盛りだくさん!この日は約1,500人のお客様に楽しんでいただきました。

2周年に向けて、さらに取り組んでいきますので引き続きよろしくお願いします!



今年も県外の若者が楓葉の“今”を残し、“未来”を紡いでくれました。

【活動概要】

震災の経験及び帰還・復興に関する町民の声を記録し、町外へ発信して後世へ語り継いでいくこと。それが「ならば31人の“生”的物語」を続けてきた目的です。学校法人立命館とならばみらいの協働事業として、避難指示が解除された平成27年から始まり、今年で5年目。その間、変化の激しい生活の中で、それぞれの立場、想いのもとで日々を歩む町民の方々の“生”的姿を、毎年31人、それぞれ1枚のポスターとして残してきました。



今年の製作活動は避難指示が解除された「9月5日」をゴールに、8月31日から6日間の日程で実施。公募で集まった14名の大学生が、楓葉町で共同生活を送りながら活動してくれました。



【行程】

●町内視察

到着した学生は楓葉町の現状への理解を深めるため、町民の案内で各所を視察しました。震災後、楓葉町が歩んできた道のりの一端を知ることで、2日目から始まるインタビューに向けて気持ちを高めました。

●インタビュー&編集

14名を2名ずつの7グループに分けて町民の方々にお話を伺い、ポスター用の写真も撮らせていただきました。グループごとの「編集会議」を経て、いよいよインタビュー内容を文章化。想いが明確に伝わる言葉を紡ぎました。



●展示会

完成したポスターは最終日の9月5日、みんなの交流館ならではCANVASに展示しました。ポスター掲示の組み合わせ、会場レイアウト等、学生が知恵を出し合い、6日間の活動の成果を披露しました。



【参加者に聞きました】今回のインタビューの中で印象に残った言葉は?

- ・楓葉の人たちは普通の生活が当たり前じゃないことを本当の意味で知っている。
- ・震災は経験したけど、いろいろな人に助けてもらった。助けてもらつてばかりは嫌。
- ・命が残っていれば、なんでもできる。

ならば
31人の
“生”的
物語

5年目の活動の記録

7月から檜葉町ふるさと納税が リニューアル!

今回は
新たに加わった
返礼品の一部をご紹介します。



松本さんの有機米:松本広行



手作りから揚げ:株式会社ネモト

檜葉町より「ふるさと納税運用業務」を受託し、町と連携を取りながら新体制で運用を開始しています。

ふるさと納税を地域産品の販路として今まで以上に活用すべく、返礼品の拡充や寄付者の拡大に向けた施策を実施してまいります。

掲載事業者数	平成30年度	令和元年度	掲載商品数	平成30年度	令和元年度
4事業者	→	14事業者	18商品	→	97商品

(令和元年7月現在)



こだわりのパンセット:アルジャーノン



好きですならは(焼き菓子):かんの家

●サイズや種類等、豊富に揃えています。詳しくはふるさと納税サイトを検索! [ふるさとチョイス 檜葉町](#) 次回はその他の返礼品を紹介します。お楽しみに!

檜葉町新たなコミュニティづくり懇話会

取組 町内の充実した生活環境を整えるべく、下記の4つの柱を軸に地元企業・進出企業・町民有識者で会議を重ねています。

- ①新コミュニティ形成への深化
- ②地域(住民)が企業を知る
- ③企業が地域(住民)を知る
- ④お互いの共通グランドを作る

《商 号》 恵和興業株式会社 ケイワ・ゼロエミプラントならは

《業務内容》 ●産業廃棄物のリサイクル事業 ●再生土木資材の製造・販売



開発営業本部長の堀切吉雄さん

檜葉南工業団地の恵和興業株式会社と申します。

「知恵と技術開発で地域の産業発展と自然環境との調和を図り、持続可能な社会を創造する」を企業理念とし、循環型社会構築の一翼を担うリサイクル事業を展開しております。

檜葉町にお世話になり3年目の当社ですが、

- 檜葉の酒づくりプロジェクト委員会-発起人
- 檜葉町新たなコミュニティづくり懇話会-幹事

などのご縁をいただき、コミュニティ再生を目指した活動にも参加をしています。



企業を知ろう!

まずはお互いを知るところから始めよう!

「②地域(住民)が企業を知る」にスポットをあて、企業さんを紹介します。

**第1弾 恵和興業株式会社
ケイワ・ゼロエミプラントならは**

(檜葉町山田岡字仲丸1-35)

※檜葉南工業団地内

ディープなひと。

ならはみらいと繋がりのある団体、または個人の方々の活動をご紹介!

八ヶ岳グリーンネットワークの皆さん

今回は「八ヶ岳グリーンネットワーク」の皆さんをご紹介します。

八ヶ岳グリーンネットワークとは...長野・山梨にまたがる八ヶ岳南西麓で、グリーン産業に従事する生産者、事業者のグループです。



震災後、被災地に元気になってもらおうという想いで花を届ける活動を毎年、春と秋に行っています。

檜葉町には、昨年の秋に立ち寄ったことがきっかけで、ご縁を繋ぐことができました。今年6月には、とても珍しい色をしたマリーゴールドをはじめ、日々草やペチュニア、そして、10/5(土)にも花苗を届けていただきました。

いただいた花苗は、交流館にある「みんなの花壇」に植栽をしていただき、交流館も一段と華やかになりました。その他にも、中満住宅にある公園に植栽し、笑ふるタウン内を彩りました。

お近くまでお越しの際はぜひご覧ください。

東北各地へ

お花と想いを届けに:



PICK UP ふたばエイト(双葉郡まちづくり協議会)

ふたばエイト活動開始!初のイベント参加

令和元年5月に8町村のまちづくりを担う団体が集まり、情報・課題の共有や組織間の補完、連携による新たな事業展開を目的とした「双葉郡まちづくり会社等連絡会議(仮)」が設立。その後、多くの方に覚えてもらうため「ふたばエイト(双葉郡まちづくり協議会)」と名付け、今年度の取り組みについて会議を重ねてきました。

まず初めに取り組んだのは、イベント参加です。

9月には大熊町役場広場で行われた「おかえり!なつ祭りinおおくま」に参加してきました。各まちづくり団体の事業紹介展示や双葉郡に関わるご当地クイズ、8町村のゆるキャラを集めたぬり絵など、双葉郡ならではのコーナーに多くの方が足を運んでくれました。

10/5(土)には「ふたばワールドin Jヴィレッジ」へ参加。その他の活動も徐々にスタート。より良い「まちづくり」のために手を取り合い事業展開していきます!



8町村ご当地クイズ



8町村ゆるキャラぬり絵

NEWS お知らせ

活動報告 藍染め体験会

7/25(木)児童館の子どもたちを対象に生葉染め体験会を実施。

ならは藍染め会の皆さんと子どもたちが、摘み取ったばかりの藍の葉でハンカチを染めました。

普段ではなかなか体験できない、子どもたちの財産となるような活動を今後も続けていきます。



作品を手に記念写真

お知らせ 子育て支援等プレミアム付商品券販売スタート!

子育て支援等プレミアム付商品券事業は、消費税・地方消費税の引き上げが消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を下支えするための子育て世帯等向けのプレミアム付商品券の発行及び販売を目的としています。

ならはみらいでは、当事業を町から受託し、10月からの販売にむけ準備を進めてきました。ぜひご活用ください。



販売場所:みんなの交流館ならはCANvas

販売期間:令和元年10月1日(火)~令和2年3月30日(月)

販売日・時間等、詳しくは(一社)ならはみらいまでお問い合わせください。

MIRAI ならはみらい事務局職員紹介 ※7月着任

施設管理部

主に笑ふるタウン内にある、商業施設・交流施設の管理運営を担います。



係長:佐藤 康正(さとう こうせい)

#神奈川県出身、産湯はいわき市

#趣味特技:ランニングは10kmまで

#今年の目標は毎日スカイアリーナで走ること

MIRAI NOW ならはみらいの動き

7月

- 1日 ● ふるさと納税リニューアル
- 3日 ● 楢葉町活性化協議会
- 4日 ● テナント会
- 5日 ● ふたばエイト(双葉郡まちづくり協議会)@富岡
- 10日 ● 楢葉町新たなコミュニティづくり懇話会
- 23日 ● さすまた講習会
- 25日 ● 藍染め体験会(生葉染め):児童館の子供たち対象
- 27日 ● 交流館1周年イベント



さすまた講習会

8月

- 1日 ● ママさんプレゼント用藍染めストール制作
- 7日 ● 楢葉町活性化協議会
- 8日 ● テナント会
- 20日 ● ふたばエイト:イベントワーキングチーム会議
- 23日 ● ふたばエイト(双葉郡まちづくり協議会)@葛尾
- 26日 ● 中学生キャリア教育用藍染め商品納品
- 29日 ● 楢葉町新たなコミュニティづくり懇話会
子育て支援等プレミアム付商品券事業者説明会
- 31日 ● ならは31人の“生”的物語プロジェクトスタート
※8月31日~9月5日まで活動



藍染め体験会

9月

- 5日 ● 藍染め体験会(乾燥葉染め)
小学校6年生対象
31人プロジェクト作品展示 ※5日~
- 6日 ● テナント会
- 7日 ● おかえり!なつ祭りinおおくま 参加
- 10日 ● 商業施設・交流施設消防訓練
- 11日 ● 楢葉町活性化協議会



おかえり!なつ祭り
inおおくま



一般社団法人
ならはみらい



みんなの交流館
ならはCANvas



ここなら笑店街
NEW

その他、Facebook・
Instagramもcheck!

発行者・問い合わせ先

一般社団法人ならはみらい

住所:〒979-0604 福島県双葉郡楢葉町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならはCANvas内

電話:0240-23-6771 FAX:0240-23-6772

Mail:info@narahamirai.com Web:<https://narahamirai.com>

